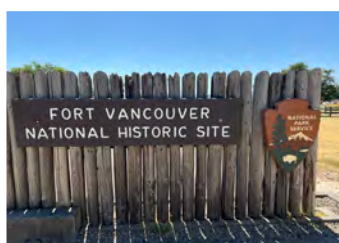
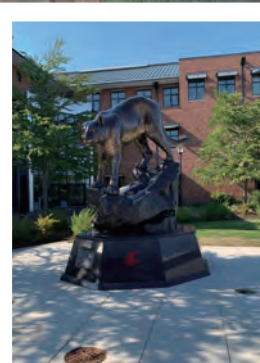
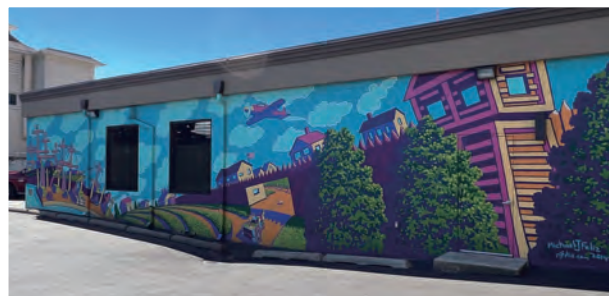


TRIP to Vancouver in WA U.S.A



姉妹都市体験学習 2024
米国バンクーバー市訪問団文集

JIEA

目 次

目次・行程表	2
団長 森澤 博光	3
浅井 達司	5
新井 史人	7
石原 章子	9
久保 和幸	10
河野 容子	11
澤田 源一郎	12
葉山 康子	13
Proclamation	19
訪問団名簿・あとがき	19
歓迎朝食会、Waterfront 散策	6
バンクーバー市議会	8
Rotary 例会	9
市役所レセプション	10
バンクーバー港	14
ワシントン州立大学、クラーク郡歴史博物館	15
街中散策、Officers' Row、バンクーバー砦	16
Ridgefield Raptors、Clark College	17
Windy Hills Winery、Boschma Farms、Waterfront Park Concert	18

- 9日(火) バンクーバー港見学、車ツアー
ユナイテッド・グレイン社へ移動
昼食会
昼食後自由行動
ワシントン州立大学バンクーバー校
キャンパスツアー、交流会終了後に
ディナー
- 10日(水) クラーク郡歴史博物館
バンクーバー歴史ウォーキングツアー
バンクーバー砦ツアー
リッジフィールド・ラプターズ野球
観戦
- 11日(木) クラーク・カレッジ レセプションと
キャンパスツアー
ウィンディ・ヒルズ・ワイナリーで
昼食
ボシュマ・ファームス・ウォーキン
グツアー（クラーク・カレッジの新
キャンパス）
ウォーターフロント・パーク・コン
サート
- 12日(金) ポートランド空港へ
（澤田氏・久保氏・葉山氏は延泊）
ポートランド（PDX）発
バンクーバー（YVR）着 / 発
- 13日(土) 関西（KIX）ターミナル1 着
市役所着

米国バンクーバー市訪問団 行程表

2024年7月7日～13日（7日）
5泊7日間

- 7日(日) 市役所発
関西（KIX）ターミナル1 発
バンクーバー（YVR）着 / 発
ポートランド（PDX）着
ホテルチェックイン
夕食・食後自由時間
- 8日(月) 歓迎朝食会・オリエンテーション
ウォーターフロント見学
（ロータリー道とターミナル1 など）
ロータリー例会と昼食
ホテルに戻って自由行動
（商工会議所はビジネス会議）
市役所ロビーと児童絵画交流展見学
バンクーバー市議会と認証
市議との夕食レセプション



ボーマー夫妻、R・ナイト元学長、L・スミス氏、R・ブラッド
レー氏、奥原さん、B・オーザティさん、カイラさん（広報）、
クラークの学生などたくさんの方に出迎えていただきました

CITY OF
Vancouver
WASHINGTON

姉妹都市 USA バンクーバー市を訪問して

訪問団長 森澤 博光

今回のバンクーバー市訪問団は、2015 年以来で 9 年ぶりの訪問となりました。2020 年の姉妹都市盟約 25 周年の時に、お互いの訪問計画がありましたが、コロナウイルス感染予防のために延期となっておりました。しかし、昨年 2023 年 3 月にバンクーバー市から 31 名の皆様が城陽市を訪問して頂き交流事業が再開されるようになり、今回の訪問となりました。

今回の訪問団は、市民訪問団 10 名と城陽商工会議所役員の方々 6 名の合計 16 名となりました。

7 月 7 日 第 1 日目

ポートランド空港に到着すると、M・ボーマー夫妻、B・ナイト元学長、L・スミス氏、R・ブラッドレー氏 (RC 会長)、奥原さんら多くの皆様が、手作りの日の丸旗を持っての出迎えを受け、訪問者一同感激しました。その夜は、訪問団だけで近くのレストランへ行き、楽しく夕食会をしました。

7 月 8 日 第 2 日目

宿泊ホテルのヒルトンホテルで、歓迎朝食会を開催して頂きました。奥田敏晴城陽市長出席のもと、アン市長、M・ボーマー氏、E・カサブ氏、R・ブラッドレー氏、J・アサイさん (RC)、アマンダさんと、訪問団メンバーとの初顔合わせをしました。その後、歩いてコロンビア川沿いのウォーターフロントの再開発地を見学しました。詳しく説明を受けて近年の開発状況の速さに驚きました。お昼は、バンクーバー・ロータリークラブの例会に参加しました。午後は、城陽商工会議所メンバーとバンクーバー市商工会議所関係者とのビジネス会議が開催されました。午後 5 時から、市役所表敬訪問をしました。アン市長はじめ、E・ポールセン市議、T・ストバー市議、S・フォックス市議、D・ペレス市議、E・ホームズ City Manager の心温まる歓迎を受けました。その後、歓迎夕食会が開催され親睦

と交流を深めました。

7 月 9 日 第 3 日目

午前中は、M・ボーマー氏の案内でバンクーバー港の中にある「ユナイテッド・グレイン社」を見学しました。アメリカ国内の生産者から穀物を調達して、バンクーバー港で外洋船に積み込み世界の国々に輸出している会社でした。全て、スケールの大きさに驚きました。(P.14 参照)

午後からは、ワシントン州立大学バンクーバー校を見学しました。学生の平均年齢が 25 歳で、学生の 80 パーセントが地元出身者で奨学金を受けていて、卒業後は地元企業に就職するという地元密着の大学でした。学校内からは、遠くにフッド山とセント・エレン山を見ることが出来る景色も素晴らしい大学でした。

7 月 10 日 第 4 日目

午前中は、クラーク郡歴史博物館の見学と、バンクーバー歴史ウォーキングツアーをしました。案内役は、R・ブラッドレー氏 (歴史博物館長・RC 会長) で、旧市街地にあるレンガ造りの歴史ある古い建物を見学しました。先人が苦労して建てた物を大切に保存して行こうという姿勢が強く感じられました。



リッジフィールド・ラプターズの選手と

午後からは、オフィサーズ・ロウ、バンクーバー砦、日本人漂流者記念碑を見学しました。夜は、アン市長、E・カサブ氏、M・ボーマー氏、アマンダさんと一緒にバンクーバー市が応援している野球チーム「リッジフィールド・ラプターズ」の野球観戦を楽しみました。

7 月 11 日 第 5 日目

午前中は、クラーク・カレッジを訪問しました。Dr. エドワーズ学長、Dr. ブラウン副学長、

奥原さんの案内で、校内を見学させて頂きました。立派に大きく育った100本の桜の木を見て感激しました。昼食は、E・カサブ氏の案内でウィンディ・ヒルズ・ワイナリーで美味しいワインを頂きました。

午後からは、クラーク・カレッジの新築中のボシュマ・ファームス学舎を、学長、副学長の案内で見学させて頂きました。学生達が、自由に研究や実験に取り組める施設が完成しつつありました。夜は、ウォーターフロント・パーク・コンサートに招待して頂きました。大変多くの市民参加のコンサートで、楽しいひと時を過ごしました。

今回の訪問で特に感じたことは、

1. ウォーターフロントの開発が思ったより早く進んでいて、ホテルやオフィス、商業施設、マンションが完成しつつあり新しい街が出来つつあると思いました。

2. 今回、バンクーバー港を詳しく見学させて頂きました。コロンビア川にあるこの港は、海から160kmのところであり大きな貨物船が行き来していて、日本を含むアジアと南米、カナダ等の貿易港であることを知りました。港には50を超える企業が有り、世界の国々と貿易をしている凄い港であることを知りました。

3. バンクーバー市に、クラーク・カレッジ以外に、もう一つ大学があることを知りました。今回、ワシントン州立大学バンクーバー校も訪

問させて頂き、市内に地元密着の2つの大学が存在することを知りました。

この様に、今回の訪問で初めて見る所も沢山あり、より深くバンクーバー市を知ることが出来、有意義であったと思います。



クラーク・カレッジ 桜並木の下で2ショット

今回のバンクーバー市の受け入れ体制は、姉妹都市委員会を組織されて取り組んで頂きました。アン市長を中心にバンクーバー市役所、バンクーバー港とロータリークラブのM・ボーマー氏、そしてクラーク・カレッジの4つの団体が協議してスケジュールを組んで頂きました。少し過密なところもありましたが、随所に温かい心遣いもあり、皆さんには本当にお世話になったと思っております。お世話をしていた頂きましたバンクーバー市の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

結びに、今回のバンクーバー市訪問事業に対しまして、奥田敏晴城陽市長はじめ、多くの皆様にご支援とご協力を頂きましたことを心から感謝申し上げます。

.....

 Day1 Vancouver Hilton Hotel にチェックイン



チェックインの後、ウォーターフロントのレストランで夕食

米国バンクーバー市訪問団に参加して

浅井 達司

城陽市国際交流協会主催の「米国バンクーバー市訪問団」参加のきっかけは、私の所属している佐伯幼稚園が、毎年バンクーバー市と慶山市に「園児の絵」を贈っています。その絵がバンクーバー市役所のロビーに掲示されている



のをこの目で確かめたかった事からです。

説明会や準備などは、市交流協会の会長・役員さんはじめ事務局の方々には大変お世話になりました。特に事務局長の大久保さんには個人的にもお世話になりました。協会皆様のお陰で思い出に残る訪問・体験ができました。

心から感謝申し上げます。

行程については、交流訪問とあって、びっしりと予定が組まれていて息抜きをする暇もありませんでした。乗り継ぎの長旅を経てポートランド到着時には、ロータリーメンバーや家族の方々が日本の国旗を振って出迎えていただきました。このことでも、交流の深さを感じました。

それ以後、多くの行程のすべてに市長は顔を出して頂き感銘しました。宿泊先のホテルも連泊移動なしということもありゆっくりできました。

2日目は、ウォーターフロント見学とUSAバンクーバー・ロータリークラブの例会に参加しました。私も城陽ロータリークラブメンバー

ですので、親しくしている方がたくさん居られました。

その後、市議会を傍聴するために市役所へ移りました。私の目的である園児の絵を探しに行きました。ロビーに掲示してありました。信楽焼「たぬき」の絵です。名札には園児の名前と

Saeki Kindergarten age 6 Shigaraki's Raccoonと書かれていました。

昨年度に送った絵でした。これで目的の半分以上が達成されました。もちろん写真を撮って、帰国後、報告と写真を渡しました。

バンクーバー港やウォーターフロント、市内、ワシントン州立大学バンクーバー校、クラーク・カレッジの各キャンパスを毎日見て回りました。スケールの大きさと素晴らしい発想に驚かされました。



楽しい企画も用意されていました。野球観戦(大学生の選抜チームリーグ戦)その中に、名古屋から留学してプロを目指している選手もいました。日本人がいるかなと思っていましたが、やっぱりいました。どこにでも居るなーと思いました。

最後の夜と言っても、日没は、9時。ウォーターフロントで市主催の音楽イベント(6時開始8時終り)があり行かせて頂きました。

ここでも、市長から日本の城陽の我々を紹介してくれる場面もありました。

すべてにおいて、歓迎していただき幸せに思いました。



桜の寄贈者を記した石碑が話題に

最後に、カナダ空港にてカード入りの財布がどこか行ってしまい(すられたか)今までの良い思い出が吹っ飛ぶ事態となりました。その時、事務局蓮佛さん、大久保さん、会員の皆さまにはご迷惑をお掛けしました。お詫び申し上げます。

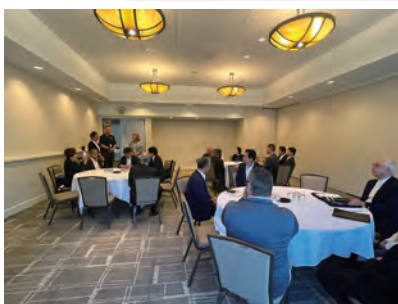
ちなみに、カードは使われていませんでした。一安心です。

年齢、体力が許されるなら、又このような企画に参加したいと思います。

みなさん、ありがとうございました。



Day2 歓迎朝食会



Day2 Waterfront 散策

ウォーターフロント散策には奥田市長も同行されました



街を散策中ウサギやリスに遭遇。バンクーバー市は自然がいっぱいです。



米国バンクーバー市訪問団に参加して

新井 史人

私は十数年前、城陽青年会議所からの出向で国際交流協会の理事として数年間在籍をしていました。その時は韓国慶山市との交流事業には関わっていたのですが、米国バンクーバー市とは深く関わることも無く時間が過ぎていきました。そして昨年度、京都城陽ロータリークラブからの出向で国際交流協会の理事に再度なることとなり、また同じタイミングで米国バンクーバー市より訪問団が来日され、その時に初めて関わることとなりました。そのような中、本年、米国バンクーバー市への訪問事業を9年ぶりにおこなうということで、迷うこと無く参加することを決めました。その決断は大変有意義な時間を得ることとなりました。

訪問事業初日、関西国際空港からカナダのバンクーバー国際空港を経由して米国オレゴン州のポートランド国際空港に到着しました。荷物を取り待合スペースに出ると、バンクーバー市姉妹都市委員会のマイク・ボマー氏を始め約15名の関係者の方々のお出迎えを受けました。皆さん手作りの日本の国旗を振りながら満面の笑顔でのお出迎えでした。この状況を見ただけでも、これまで培って来られた30年近い交流の歴史が大変すばらしいものだったということを感じました。

バンクーバー市との交流の始まりは、京都城陽ロータリークラブとバンクーバー・ロータリークラブとの交流の始まりから、市の姉妹都市交流へと繋がっていきました。今もその接点は脈々と受け継がれており、バンクーバー市の中には姉妹都市委員会という組織があり、その委員長はバンクーバー・ロータリークラブのメンバーであるマイク・ボマー氏が担っておられます。今回の私たち訪問団の受け入れもこの姉妹都市委員会を中心におこなわれ、バンクーバー市、バンクーバー市議会、バンクーバー・

ロータリークラブ、クラークカレッジなどの学校やバンクーバー港の企業など、多くの各種団体や企業の協力の上に成り立っており、バンクーバー市の姉妹都市交流に対する体制づくりには多く学ぶところがあることに気付かされました。

また今回の訪問では4日間の滞在期間中、多くの行事やイベントを企画・準備して頂き、通常の観光旅行では感じる事が出来ない貴重な体験をさせて頂きました。到着日翌日の1日目はアン市長主催のウェルカムオリエンテーションに始まり、コロンビア川湾曲部の再開発拠点ウォーターフロントの散策、バンクーバー・ロータリークラブの例会参加や、バンクーバー市議会の認証・夕食会など、バンクーバー市・ロータリークラブ関係の皆様と交流を図る貴重な時間を過ごしました。2日目にはバンクーバー港



の企業見学に行き、日本の企業がアメリカで子会社を作り、日本や他の国へ穀物を輸出している状況などのお話を聞きました。港内では大きな船から日本車が陸揚げされていく様子も垣間見ることが出来ました。その後、ワシントン州立大学に訪問し校内を散策した後に、学校（学生）と地元企業との交流会イベントに参加しました。3日目にはバンクーバー市内の歴史ウォーキングツアーや、バンクーバー砦ツアー、そして夕方からは地元野球チームの試合を観戦。その野球チーム（リッジフィールドドラプターズ）には1人の日本人が投手として在籍しており、当日は登板が無かった為、私たち訪問団に試合中最後まで付き添ってくれていました。1人異国の地で頑張っている姿に何とかアメリカ

ンドリームを掴んでほしい、そんな気持ちになりました。そして帰国前日の4日目にはクラークカレッジを訪れ、校内にある100本の桜の並木道を散策しました。この桜は日本企業から寄贈されたもので、毎年4月にはこの場所でサクラフェスティバルが開催されるそうです。その後、今建設中のクラーク・カレッジ・ボシュマ・ファームの現場内を見学し、夕方にはウォーターフロントパークで開催されたコンサートに行きました。コンサート会場では私たち訪問団のことがアン市長から紹介され、市民の皆様から大きな拍手を頂きました。



試合の合間のゲームに飛び入り参加

これらほぼ全ての行程にマイク・ボマー氏が同行され、バンクーバー市の職員の方々や市

議会議員の方々も交代で同行して下さり、安心して行事やイベントに参加することができました。また移動の車の運転もバンクーバー市の職員の方がほぼ行われており、私たち訪問団を受け入れるために、多くの方々が動いて頂いていたことに改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。



クラーク・カレッジの桜並木を散策

これからもこの姉妹都市関係が未来永劫続いていき、両市の多くの市民の方々が、お互いの文化を認め合いながら文化的・社会的な交流を深めて続けていくことを切に願い、私自身もその一助となれるよう努力していくことを約束して、米国バンクーバー訪問団参加の感想とさせていただきます。



Day2 バンクーバー市議会

～妹都市絵画交流～
バンクーバー市役所のロビーでは、城陽市の園児・児童が描いた作品とバンクーバー市の子どもたちの作品が展示されていました



姉妹都市バンクーバー市を訪問して

石原 章子

初日から、コロンビア川沿いを再開発した新産業拠点ウォーターフロントをバンクーバー市長やバンクーバー・ロータリークラブのメンバーと見学しました。以前来た時は空地であった場所が素晴らしい変貌を遂げておりました。



市役所レセプションにて

バンクーバーロータリーの創立百年記念事業で設けられたロータリーロードの横には多くの市民が楽しそうに憩っておられました。京都市城陽ロータリークラブが城陽市とバンクーバー市の姉妹都市締結の架橋としてお役に立ったいきさつをバンクーバーロータリーの例会場においてスライドを見せていただきました。

今は故人となられた先輩のお写真やまだまだ現役で私たち後輩を導いてくださっている多くの先輩方の若かりし頃のお姿もを見せていただきました。京都市城陽ロータリークラブが長きにわたり地域貢献に取り組み、その絆が海を渡り、

はるかワシントン州のバンクーバー市においていまだキラキラと輝く姿を見ることがかない、たいへん感動しました。



ロータリー寄贈の世界平和を願う記念碑

また、一般公募の市民の方々や商工会議所の方々と有意義な時間を共有することができたのも貴重な体験となりました。城陽市国際交流協会の森澤会長、大久保さん、蓮佛さん、たいへん御世話になりました。心から御礼申し上げます。またぜひバンクーバー市を訪問し、友好の絆を深めたいと思います。

ありがとうございました。



ロータリーの例会での挨拶



Day2 Rotary 例会



バンクーバー・ロータリーの例会に招待していただきました

城陽市の姉妹都市米国の バンクーバー市の訪問記

久保 和幸

僕は宇治市の住民ですが今回、城陽市の姉妹都市、米国、ワシントン州のバンクーバー市訪問団に参加させていただいた、城陽市国際交流協会のご配慮に感謝いたします。



マーシャルハウスでひと休み

バンクーバー市の事を知ったのは城陽市のコミセンで月2回のLingo Clubと言う英会話サークルからでした。時々、バンクーバー市の方と直接英語でお話が出来、2023年3月には31人のバンクーバー市訪問団が来日されました。その時は宇治市の英会話サークルからも助っ人に来てもらい「英語で会話しよう」と交流会を持ちました。それがご縁でこの度、バンクーバー市を訪問したいと思います。

バンクーバー市に到着した時に空港まで出迎えにきてくださり、中に知った顔を見つけた時は本当に嬉しく思いました。



クラーク・カレッジでの説明に耳を傾けて

今回は私の初外遊の旅立ちで何から何まで始めて尽くしの友好親善の旅を満喫できました。

バンクーバー市のアン市長の温かい歓迎レセプションより開始した城陽市との姉妹都市交流で見学したバンクーバー港の開発発展に目を奪われたり、バンクーバー砦の見学やリッジフィールド屋外で野球観戦をたっぷり楽しめたり、あっという間の有意義なバンクーバー市との姉妹都市交流を体験させて頂き、関係者皆様に感謝の気持ちで一杯です。又道中で散々ご迷惑をお掛けした事忘れては申し訳ないと肝に銘じました。



リッジフィールド野球観戦後に投球



Day2 市役所レセプション



記念品交換

「米国バンクーバー姉妹都市体験学習」に参加して

河野 容子

Joyo → Vancouver

Sister City Exchange July 2024

今回、2度目のバンクーバー訪問です。

カナダからプロペラ機でポートランド空港に降り立った瞬間、北アメリカの青い高い空、澄み切った空気、遙か遠くに雪を被ったフード山が見えた。雄大な自然に感動した。交流の始まりはここからスタートした。

^{そうそう} 鍾々たるバンクーバーの市のスタッフ達の心温まる歓迎に大変嬉しく思った。「おもてなし」に、城陽市との交流の深さに感銘を受けた。残された映像に17年前の「私」がいて、何だか不思議な縁を感じた。又、「人と人とのつながりの深さ」に感動した。



クラーク郡歴史博物館見学

さて、前回の訪問と違って、バンクーバーの街はどん々新しく生まれ変わり、ホテル、レストラン etc. 活気溢れる街へと変貌していて驚いた。

港の見学では、スケールの大きさにど肝を抜かれた。

野球観戦。始球式では「城陽市民」を紹介していただき、Waterfront Park Concert では音楽を楽しんだ。

クラーク・カレッジでは、桜並木を散策し、城陽の梅の木も見ることができた。ここでは、目的の一つでもあった「青いボールペン」を買っ

た。私の夢は叶った。



クラーク・カレッジ校内で梅の実を試食

ワシントン州立大学での研究施設の見学、ウィンディ・ヒルズ・ワイナリーの広大なぶどう畑、ワインのおもてなしにも感動した。

とにかく、この素晴らしい体験は私の思い出の1つになった。心が静かに広がっていく様な北アメリカの気候を体感し、午後九時頃の夕暮れ、空高く輝く三日月を見て、参加してよかったと思った。そして、ステキな参加者に会えた事もよかった・・・と感謝してます。この体験学習を企画してくださった方々、本当にありがとうございます。感謝します。

最後に、自分の経験が少しでも何かの役に立ち、社会貢献できたら幸いです。

「忘れられない交流の旅」 ありがとう。



最終日の夕食はタイ料理で



滞在中の朝食は GRAYS で

姉妹都市米国のバンクーバー市を訪問して

澤田 源一郎

我が市の姉妹都市が米国バンクーバー市だと知ったのは市内コミセンで月2回のLingo Clubと言う英会話サークルからでした。数年前からipadでバンクーバー市の方と時々、辿々しい英語で話をする機会が出来て、姉妹都市に俄然興味が湧きました。

2023年3月に何と31人のバンクーバー市民訪問団と交流を持とうと言う事になりました。まあ、兎に角、ほぼ英会話を満足にできない者の集まりでしたが、火事場のバカ力と言うか、訪問団の方々には結構喜んでいただけたようです。それがご縁で31人の皆さんにお会いできるかも知れないと言う気持ちで、今回の訪問を決意しました。



バンクーバー市訪問で一番印象に残ったのは、バンクーバー市議会での議会認証に立ち会えた事です。そしてその後のシティホールでの議会関係者の方々との夕食会です。丸テーブルに6～7人座り、楽しい夕食時間を過ごす事が

出来ました。

そして、地元の野球チーム、ラブターズの野球試合観戦です。ホットドッグを片手にビールを飲みながら、周りの人達と談笑しながらの野球観戦、大変印象に残っています。



それと、自分の仕事柄クラーク・カレッジ、ワシントン州立大学の校庭、バンクーバー砦やバンクーバー市の公園の施工管理、及び工事中のクラーク・カレッジ分校の施工管理など、日本との違いはありますが興味深く観察して来ました。



これら全て、忘れる事が出来ない素晴らしい訪問旅行でした。

Day2 Extra edition

商工会議所同士でビジネス会議

城陽市の商工会議所のメンバーは、別行程でグレーター・バンクーバー商工会議所とビジネス会議に参加されました。



姉妹都市バンクーバー市の訪問団に参加して

葉山 康子

約 20 年前に城陽のソロプチミストさんの御紹介でバンクーバー市を訪問し、現地のソロプチミストさん（現在は閉鎖されているようです）に大変お世話になりました。

今回、リングクラブの 2 人が訪問団に参加することを知り、又、昨年 3 月にリングクラブ仲間 31 人の皆様と、つたない英語でも楽しく交流できた思い出があり、その時のお会いした皆様との再会も楽しみに参加しました。バンクーバー市に到着した折には、皆様が温かくお出迎え頂きその上過大な“おもてなし”までして頂き感謝の言葉が見つかりません。本当にありがとうございました。

その時に植樹した木の成長も出来れば見たいとバンクーバー市役所をお願いしたら、何とバンクーバー砦公園の中で植樹した木と対面することが出来、大きく大切に育てて頂いた事に感動しました。



そして観光の事・・・

・最初にバンクーバー港。その広大な敷地のサイロへ穀物を運ぶのに 100 の車両で・・・日本では考えられません。さすがーと思いました。

・ワシントン州立大学バンクーバー校マーケティング部長のブレンダーさんと一緒に写真を写して頂き、私が 85 歳だと話すと驚かれ、この学校に 80 歳の生徒が居るので、”ぜひ貴方も。

住居を用意しとくから”と楽しくお話出来ました。



・ラプターズスタジアム野球観戦＝観戦と云うより？皆さんビールを飲みながら回りの人と話し、楽しんでいる様子でした。丁度、マイクさん家族が来られたので、私もお話出来るその場を楽しみました。

・最後にウォーターフロント・コンサート。会場に行った時、観客席の所、椅子まで用意して下さったなんて・・・その演奏が始まり、マイクさん奥様のオードリさん、未っ子のグエンちゃんが見え、グエンちゃんに踊ろうと云うと付いて来てくれたので、1 曲彼女と踊り可愛かった・・・。御一家が帰られた後、私の目の前の外国の御婦人が“のりのり”で私もつられ、久保さんとステージの舞台の前で、彼はすぐ椅子を立ったが澤田さんは“ボク踊れへんねー”と云ったが、私が無理やり引っ張り舞台の前迄行き、ステップを・・・。

そして 3 人で踊っていると、先程の外国の御婦



人も参加され、4人で大いに盛り上がりました。そして、自分の席に戻る時、座ってらっしゃる外国の方々がやたらと握手を求められ、いい気分でしたよ。

私も海外旅行に120回位行ってますけど、いつも思うのです。日本の人は“サーどうぞ御一緒に”とその国の方が云ってくれてもなかなか参加しなく、日本人独特のシャイな気持ちがその場を楽しむ事が出来ないのでしょうか。私は元々洋楽が好きでダンスもです。それより一緒

に行った友達より度胸？があり、それより行った限りは旅を楽しみたい、そして好奇心と感動を味わいたいと思っています。

今回の訪問で、バンクーバー市役所、バンクーバー・ロータリークラブ、バンクーバー港、そしてバンクーバー市で活躍していらっしゃる邦人企業の皆様方には大変お世話になりました。今回の旅で本当に素敵な経験と感動の思い出が心の引き出しに又一つ増えました。

本当に心から感謝申し上げます。



Day3 バンクーバー港

1912年に公有化された米国バンクーバー港は、アジア・南米と米国中西部およびカナダとを結ぶ玄関口です。バンクーバー港は小麦・鉱物・液体バルク・車両などの貨物を取り扱っています。



あまりに壮大なスケールにツアー参加者は驚きをかくせません！

ユナイテッド・グレイン社は三井物産の100%子会社
ワシントン州コロンビア川沿いにあるバンクーバー輸出ターミナルは、米国西海岸最大の輸出ターミナルです。
ここから最大600万トンの穀物と油糧、種子を世界各地に出荷しています。





Day3 ワシントン州立大学

Washington State University Vancouver



WSU Vancouver 校のバスで送迎



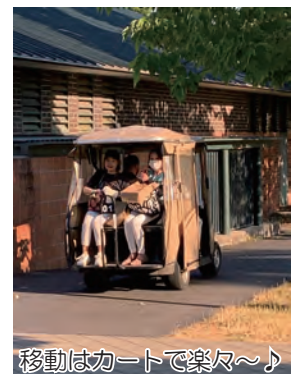
さあ！出発です



WSU のマスコット



校内から St. ヘレン山が眺望できます



移動はカートで楽々～♪



開花間近！ Titan Arum (タイタン アラム)



日本名ショクダイオオコンニャクは、サトイモ科・コンニャク属の植物。別名スマトラオオコンニャク。インドネシア、スマトラ島の熱帯雨林に自生。早く2年に一度2日間しか咲かない、世界最大の花として有名です。大学では、開花のタイミングを知るために、毎日観察を続けています。



Day4 クラーク郡歴史博物館



クラーク郡歴史博物館は、地域の歴史的に重要な品物を 60,000 点以上収集、保存しています。それらを通して、この地域の遺産と日常生活における重要性を人々に伝えています。城陽市からの記念品も所蔵されていました。





Day4 街中散策



姉妹都市城陽市を記念して描かれた壁画には、青谷の梅・松・鳥居・アイリスなどが描かれています。



バンクーバーのダウンタウンには、19世紀末からの建造物が多くあり、保存が進められています。



Day4 Officers' Row



マーシャル・ハウス



グラント・ハウス



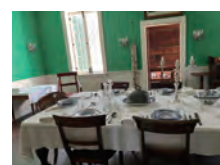
オフィサーズ・ロウでは国指定の歴史建造物として登録されている22軒のピクトリア朝様式の建物を見ることができます。これらは1800年代中期から後半にバンクーバー兵舎に駐留する米軍将校の住居として建てられました。代表的なマーシャル・ハウスとグラント・ハウスを見学しました。



Day4 バンクーバー砦



バンクーバー砦



日本人漂流者の碑（音吉・久吉・岩吉）2015年度の訪問時から場所が移転されていました。



Day4 Ridgefield Raptors



ビールを片手に観戦！



マイク・ポマー氏との投球練習、
新井さんは豪華な刺繍の施されたタ
イガースのユニホームを着用

リッジフィールド・ラプターズは、
大学のサマー ベースボール チーム
です。ウエスト・コースト・リーグ
のメンバーで、リッジフィールド・
アウトドア・レクリエーション・コン
プレックスをホーム球場としていま
す。当日は、名古屋出身の山田裕之
選手が活躍されていました。大リー
グでのご活躍を期待しています！



Day5 Clark College



クラーク・カレッ
ジは 1931 年に設
立されたワシント
ン州で最も古いコ
ミュニティ・カレ
ジの 1 つで、約
8,650 人の学生が
在籍しています。



クラーク・カレッジのメイン
キャンパスは、ワシントン州
の中心部のセントラル・パー
ク内にあり、2023 年 Bee
Campus に指定されました。
キャンパスに自生する花とミ
ツバチが巣を作り繁殖できる
自然のエリアは、ミツバチの
生息地を確立するのに役立っ
ています。



緑豊かなキャンパス



歓迎セレモニー





Day5 Windy Hills Winery



ぶどうの果実



1995年の姉妹都市提携以来、両市交流にご尽力いただいている Elie Kassab（エリー・カサブ）氏にワイナリーでの昼食会に招待していただきました

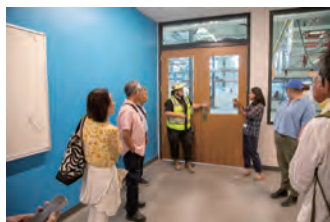


Day5 Boschma Farms



大学のマス
コットのペン
ギンも安全ベ
ストを着用

この地域で教育の拡大を目指して、2014年にボシュマー家はクラーク・カレッジ財団と提携し60エーカーの土地を提供。2022年6月1日、クラーク・カレッジはリッジフィールドのボシュマ・ファームスで新しいキャンパスの起工式を開催しました。訪問時は開校に向けて工事の追い込み中でした。



Day5 Waterfront Park Concert



サマー・コンサート・シリーズに招待していただきました。このイベントは近所の人と交流したり、バンクーバーの芸術・文化・自然を楽しむための特別なイベントです。コンサートでは観客の前で訪問国の紹介をしていただきました。7月11日はCurtis Salgado（カーティス・サルガド）の公演でした。



Proclamation (声明文)

2024 年 7 月 8 日バンクーバー市議会訪問の際に、バンクーバー市のアン市長から訪問団に対して歓迎の声明文をいただきました。



姉妹都市体験学習 米国バンクーバー市訪問団参加者名簿

氏 名	備 考
森澤 博光	団長、協会会長、 京都城陽 RC
浅井 達司	協会会員、京都城陽 RC
新井 史人	協会理事、京都城陽 RC
石原 章子	協会会員、京都城陽 RC
久保 和幸	協会会員
河野 容子	協会会員
澤田 源一郎	協会会員
葉山 康子	協会会員
大久保 雅由	協会職員
蓮佛 明子	協会職員
岩見 悦明	商工会議所（JCC）会頭
中川 憲一	JCC 副会頭
堀井 裕司	JCC 副会頭、協会理事
木引 一真	JCC 副会頭
生駒 智史	JCC 専務理事、協会監事
藤井 知哉	JCC 事務局長

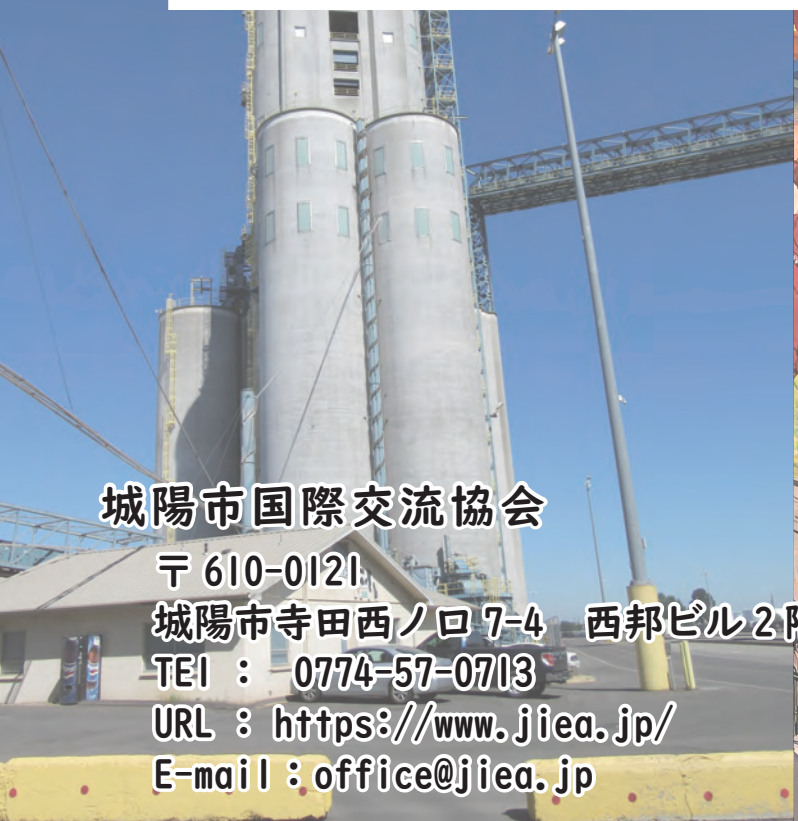
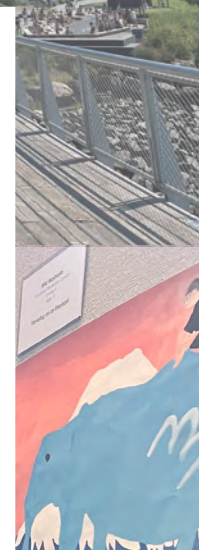
編集後記

コロナ禍を経て9年ぶりに訪れたバンクーバー市は活気あふれる街となっていました。ウォーターフロントは再開発により新しい市街地が出現したという印象でした。見学先の大学も職業訓練や地元経済界のニーズに応える即戦力となる人材育成に力を注いでいました。学生の平均年齢も高く再技能習得の場と期待されているのでしょう。バンクーバー港を管理する法人の敷地には50社が営業していると説明を受けましたが、自然のままの広大な土地から今後の大きな発展の可能性を感じました。

アン市長を先頭に訪問団を新旧様々な方々に対応していただき、友情の温かみを深く感じました。地元の歴史、野球観戦、野外コンサート、地元食材のおもてなしなど文化面でも豊かさを感じるプログラムを準備していただきました。

また、今回は城陽商工会議所の岩見会頭はじめ6名が同時訪問となり、奥田市長も2日目のウォーターフロント見学や市議会訪問には一緒に参加していただくなど、多様な顔ぶれで訪問できた貴重な機会となりました。

JIEA 事務局 大久保 雅由・蓮佛 明子



城陽市国際交流協会

〒610-0121

城陽市寺田西ノロ7-4 西邦ビル2階

TEL : 0774-57-0713

URL : <https://www.jiea.jp/>

E-mail : office@jiea.jp